

# Visual Computing 論文テンプレート

Anonymous Authors



図 1 ティザー画像のキャプションをここに記述する.

## 概要

本テンプレートは、コンピュータグラフィクス及びその周辺技術に関する学術シンポジウム Visual Computing への投稿原稿の執筆のために作成されたものである. LaTeX 版と Word 版が用意されており, どちらを使用しても良い.

## 1 原稿作成における注意事項

投稿時の原稿には著者名, 所属, 謝辞などは一切記入しないこと. Word から PDF を作成した場合, 文書のプロパティに著者を特定できる情報が入ることがあるが, そのような情報は削除すること.

## 2 テンプレートの使用例

本テンプレートを用いて原稿の本文を記述する際の例を下記に示す. なお表の詳細なフォーマットや参照に用いるコマンド<sup>\*1</sup>などは厳密に従う必要はない.

インライン数式は  $\mathbf{x} \in \mathbb{R}^n$  などのように記述する. ディスプレイ数式は

$$\mathbf{x}^* = \arg \max_{\mathbf{x} \in \mathcal{X}} f(\mathbf{x}) \quad (1)$$

などのように記述する. 数式は式 (1) などのように参照する. 図は図 1 や図 2 などのように参照する. 表は表 1 などのように参照する. セクションは第 2 節などのように参照する. 参考文献は [2, 3] などのように参照する. URL は <https://www.siggraph.org/> のように記載する.

## 3 テンプレートの詳細

### 3.1 テンプレートの実装

vc クラスファイルは bxjsarticle クラスファイルを基礎としており, pLaTeX, upLaTeX, LuaLaTeX での利用をサポートしている. このクラスファイルでは次のパッケージ

<sup>\*1</sup> ここでは `cleveref` パッケージが提供する `cref` コマンド [1] を利用している.



図 2 図のキャプションをここに記述する.

表 1 表のキャプションをここに記述する.

|        | Our method   | XXX et al.   | YYY et al. |
|--------|--------------|--------------|------------|
| Case 1 | <b>95.4%</b> | 91.2%        | 92.4%      |
| Case 2 | <b>97.5%</b> | 92.1%        | 91.2%      |
| Case 3 | 90.3%        | <b>90.9%</b> | 82.5%      |
| Mean   | <b>94.4%</b> | 91.4%        | 88.7%      |

をロードしている: `url`, `hyperref`, `hycap`, `booktabs`, `graphicx`, `xcolor`, `amsmath`, `amssymb`, `array`, `natbib`, `bxpapersize`, `environ`, `titlesec`, `indentfirst`.

### 3.2 投稿時の著者情報の削除

vc クラスファイルでは, 投稿時に著者情報を一時的に削除するためのオプション `anonymous` が用意されている. このオプションを使用するには, テンプレートファイルの冒頭の

```
\documentclass{vc}
```

となっている部分を

```
\documentclass[anonymous]{vc}
```

のように変更すれば良い. このオプションを使用することで, 著者名 (`authors` 環境および `plainauthors` 環境で記入した内容) が自動的に “Anonymous Authors” に差し変わり, また著者所属およびメールアドレスが非表示になる.

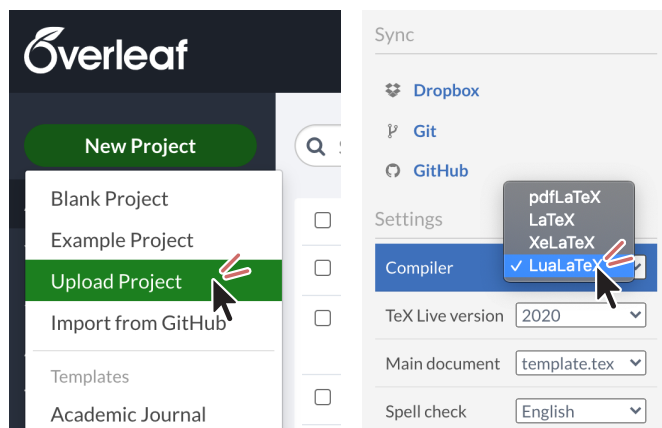


図3 Overleaf で本テンプレートを使用する際の手順。

### 3.3 English Support

This template is targeted at the Japanese language, but it also provides an option to support English manuscripts. This support can be enabled by passing `english` as the class option; that is, put

```
\documentclass[english]{vc}
```

at the beginning of the source code.

### 3.4 Overleaf 環境での使用

本テンプレートはローカル環境での使用に加えてオンライン環境の一つである Overleaf<sup>\*2</sup>での使用もサポートしている。Overleaf で使用する場合は、まず “New Project” メニュー下にある “Upload Project” 項目を選択<sup>\*3</sup>し、予めダウンロードしておいた本テンプレートの ZIP ファイルをアップロードする(図3, 左)。続いて, “Menu” をクリックした際に現れるウィジェットの “Settings” 欄の “Compiler” 項目の値について、デフォルトでは pdfLaTeX となっているところを、LaTeX あるいは LuaLaTeX へと変更する(図3, 右)。

### 3.5 バグ報告・改善提案など

本テンプレートは GitHub<sup>\*4</sup>上で管理されている。バグ報告や改善提案などは GitHub を通して誰でも行うことができる。

## 参考文献

- [1] Latex/labels and cross-referencing - wikibooks, open books for an open world. Last checked: 2021-03-07. [Online]. Available: [https://en.wikibooks.org/wiki/LaTeX/Labels\\_and\\_Cross-referencing](https://en.wikibooks.org/wiki/LaTeX/Labels_and_Cross-referencing)
- [2] Y. Gingold, A. Shamir, and D. Cohen-Or, “Micro percep-

tual human computation for visual tasks,” *ACM Trans. Graph.*, vol. 31, no. 5, pp. 119:1–119:12, 2012.

- [3] L.-Y. Wei and M. Levoy, “Fast texture synthesis using tree-structured vector quantization,” in *Proc. SIGGRAPH 2000*, 2000, pp. 479–488.

<sup>\*2</sup> <https://www.overleaf.com/>

<sup>\*3</sup> ここでは 2021 年 3 月時点でのユーザインタフェースに基づき説明している。

<sup>\*4</sup> <https://github.com/visual-computing-symposium/paper-template>